

立教大学

「21世紀の社会をリードするグローバルリーダーの育成」を目標に掲げている立教大学。英語外部試験のスコアを重視するなど、英語4技能を高めようとする意欲のある学生の入学を促進し、より質の高い教育を展開することを目的として、2021年度入試から選抜方法を改革した。

一般入試では希望学部を

最大5回受験可能

受験者は1試験日につき1つの学科専修を選んで出願でき、同じ学科専修で試験日が異なれば受験機会は最大5回(文学部は最大6回、理学部は最大2回)までとなる。もちろん、大学入学共通テスト利用入試との併願も可能だ。

一般入試の英語については、文学部の1試験日を除いて、大学の独自試験は実施しない。英語外部試験のスコア(または大学入学共通テストの英語得点)を得点換算し、受験する他の2科目の得点と合計した3科目の総点で合否判定を行う。複数のスコア・得点が提出された場合はいずれか高得点のものを合否判定に採用する。

全学部で大学入学共通テスト

利用入試を実施

全学部で大学入学共通テストを利用した入学者選抜を実施。大学独自の試験はなく大学入学共通テストの成績のみで合否を判定するため地元での受験が可能となる。受験する学部・学科専修により「3科目型」「4科目型」のほか、国公立大学との併願がしやすい「6科目型」で実施する。外国語教科は、英語外部試験のスコアを利用することも可能で、提出したスコアを得点換算し、大学入学共通テストの外国語の得点とどちらか高得点の方を合否判定に採用する。

【入試に関するQ & A】

Q. 英語資格・検定試験のスコアを持っていないけれども一般入試に出願できますか？

A. 出願できます。大学入学共通テストの「外国語(『英語』)」の得点を活用して出願することができます。

※2月11日の文学部を対象とした日程は、英語資格・検定試験のスコアは活用できず、立教大学独自の『英語』科目の受験が必須です。

Q. 一般入試では英語資格・検定試験でどのくらいスコアを保有していれば合格できますか？

A. 3教科3科目の総点で判定するため、英語資格・検定試験のスコアのみで合否を判断することはできません。

[参考]

2022年度一般入試では、学部・学科(専修)による違いはありますが、大学入学共通テストの「外国語(『英語』)」で70%以上の得点率、英検で1,950点程度以上の実力が合格ラインの目安でした(大学入学共通テスト利用入試の合格ラインは異なります)。ただし、上記の点数に満たない場合でも外国語以外の科目で高得点をあげて合格に至ったケースもあります。2023年度以降の入試においても、あくまでも3教科3科目の総点で合否を判定するという事は変わりません。

* Reading, Listening, Writing, Speaking

INFORMATION

立教大学 入試情報ページ



※新型コロナウイルス感染症に関する立教大学入学試験の対応についてもこちらからご確認いただけます。



入学センター長
観光学部観光学科 教授
橋本 俊哉

期待する受験生像

学びの先に「やりたいこと」のビジョンを持っている生徒を歓迎します。立教大学には学部ごとの専門的な学びのほか、留学プログラムやインターンシッププログラム、スポーツ実習、正課外活動などの多彩なプログラムがあり、幅広い専門分野において研究を行う先生方がそろっています。高校生のみなさんにはこれらの環境を存分に活かしながら、立教大学での学びのなかで海外や日本のさまざまな地域に目を向け、自らの「やりたいこと」の実現に向け、大きく羽ばたいてほしいと思います。



英語4技能を総合的に学び、社会のさまざまな領域で英語を使いこなし、多様な人々と協働して新たな解決策を導くグローバルリーダーを育成。

収蔵可能数約200万冊、座席数1,630席以上を誇る池袋図書館。飲食可能なテラスやリフレッシュルームなど、利用者の長時間利用にも配慮。

歴史を感じる赤レンガ造りの建物と、現代的な美しい建物が調和する池袋キャンパス。

アロー総研のフカボリ①

全学部で英語外部試験のスコアが利用可能

一般入試、大学入学共通テスト利用入試ともに全学部で、ケンブリッジ英語検定、実用英語技能検定、GTEC、IELTS、TEAP、TEAP CBT、TOEFL iBTのスコアが利用可能（一般入試では大学入学共通テストの英語の得点も利用可能）。最低スコアの設定はなく、スコアさえあれば出願可能。いずれも出願期間の初日から遡って2年以内に受験したものを有効とし、スコアに統計的処理を施し、点数化して合否判定するため、利用する試験によっての有利・不利はなく、複数種類のスコアを持っている場合は最も高得点に換算されるものを採用する。

アロー総研のフカボリ②

1年次から英語ディベート科目を必修化し「英語を学ぶ」から「英語で学ぶ」へ

立教大学ではすべての学部において1年次は必修科目、週3回の授業で英語4技能を総合的に学ぶ。秋学期の1クラス20名の英語ディベート科目（2020年度より開講）では「英語が話せる」にとどまらず、論理的に考える力、情報を集めて活用する力、他者と建設的に話し合う力などを鍛える。そして2年次以降はCLIL（内容言語総合型学習）科目を導入し、専門領域の内容を英語で学ぶ基礎を身につける。このように英語4技能教育をさらに拡充していく立教大学は、「入試は大学教育への扉」として4技能を高めようとする意欲を入学段階で測ろうとしているのだ。

2023年度一般入試の対象学部と試験科目

学部	文学部/異文化コミュニケーション学部/経済学部/経営学部/社会学部/法学部/観光学部/コミュニティ福祉学部/現代心理学部/スポーツウエルネス学部 (2023年4月設置構想中)					文学部	
	理学部		理学部				
試験日	2月6日(月)	2月8日(水)	2月9日(木)	2月12日(日)	2月13日(月)	2月11日(土)	
試験科目	英語	英語資格・検定試験のスコア、大学入学共通テスト「英語」を得点化					●
	国語	●	●	●	●	●	●(漢文含む)
	日本史B※1		●	●	●	●	●
	世界史B※1	●	●		●	●	●
	政治・経済※2				●		
	地理B※3		●				
	数学(文系)※4	●		●			
	数学(理系)※4	●		●			
	物理※5	●		●			
	化学※5	●		●			
生物※5	●		●				

※1 「日本史 B」、「世界史 B」は理学部以外の学部が対象
 ※2 「政治・経済」は文・理学部以外の学部が対象
 ※3 「地理 B」は経済・経営・理・法学部以外の学部が対象

※4 「数学(文系)」は理学部以外の学部が対象、「数学(理系)」は理学部が対象
 ※5 「物理」は理学部数学科・物理学科・生命理学科が対象、「化学」は理学部数学科・化学科・生命理学科が対象、「生物」は理学部数学科・生命理学科が対象

一般入試受験の
モデルケース

法学部法学科志望 <選択科目は「日本史」で受験>

最大4回
受験可能

2/8(水) + 2/9(木) + 2/12(日) + 2/13(月)